

すみれ乳児院だより 88 号

2023 年 4 月 1 日発行

大阪市旭区新森 7 丁目 8-16

発行責任者 施設長 北口 美弥子



新たなスタート

約 3 年間のコロナ禍の中、乳児院では感染防止・拡大防止のため職員はみなマスクを着用して養育をしてきました。職員の素顔を見た事のない子ども達。この状況が子ども達の成長において大きな影響を与えるのではないかと私たち職員は大きな不安の中で、悩みながらも「感染してはならない・感染させてはならない」と思いマスク着用を続けてきました。

そして 3 月 13 日「マスクは個人の判断で」となりましたが、コロナが完全に収束したわけではありません。当院では当面、職員はこれまで通りマスクを着用して養育や業務にあたる事。又、当院に来られる方々にもマスク着用をお願いする事としました。

3 月末、保護者の方を招き「春のつどい」を開催しました。子ども達の笑顔や元気な姿に優しいまなざしを向け「大きくなったね」「元気でいてね」と語りかけておられました。子ども達も安心感と大きな喜びを感じていたようです。保護者と共に子ども達の成長を喜び合い、確かめ合う事ができほっこりとしたひと時

となりました。

今後も感染防止をしながら保護者と子どもさんとの関りをより深めるため、この間取り組めなかった行事や催しも再開していきたいと思います。又地域の皆様との関係づくりについても新たな方法も含め一歩踏み出せる年としたいと願っています。

2022 年度すみれ乳児院は創立 50 周年を迎えましたがコロナ禍の中、周年行事を 1 年延期しました。2023 年 6 月ようやく 50 周年の節目を迎える周年行事を開催する事としました。50 年間、城東区や移転後は旭区内の地域や関係者の方々のご協力とご支援によって歴史を積み重ねてまいりました。現在、乳児院には高機能化・多機能化と様々な役割が求められています。乳児院で生活する子どもだけでなく、地域の子育て支援が重視されています。すみれ乳児院のこれまでの歴史と実践を振り返りながら今後、果たすべき役割や期待することなど関係者の方々と共に考える節目にしたいと思います。

すみれ乳児院 施設長 北口美弥子



巣立つこどもたちへ



Sくんとのお出会いは、Sくんが生後5日のことでした。ぷくぷくしたほっぺが可愛らしく見ているとつい笑顔になってしまう穏やかな雰囲気の子でした。

体を動かすの大好きで音楽に合わせてダンスしたり、オリンピックの重量挙げの映像を見て「う～ん、えいっ！」とボールを持ち上げて真似っ子をしている姿には思わず「かわいい！」と声を上げてしまいました。

乳児院からの旅立ちが決まり、Sくんと共に過ごした3年半の時間を思い起こすとたくさんの思い出が浮かびました。一緒に手をつないで歩いた散歩道、「おいしい！」と教えてくれたご飯の時間、「Sくん、バイク乗ってみたいなあ～」「きょうりゅうに会いたいねん」「ぶどうジュース、いっぱい飲もうかな」とたくさんやってみたいことを教えてくれたこともありました。

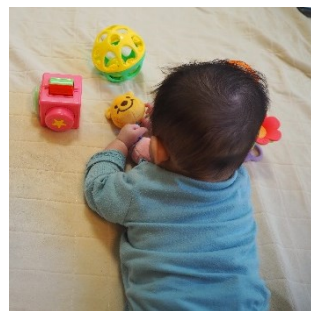
そしていつか自分が過ごしてきた時間を振り返ったときに、乳児院で過ごした時間が楽しいものだったと思ってもらえればとても嬉しいです。



これからたくさん良いことがありますように、身体に気をつけて元気に過ごしていけますように！Sくんと一緒に過ごすことのできた3年半は私にとって宝物です。今まで本当にありがとう、大好きだよ！

酒井

Yくんと初めて会った時の印象は「とっても小さくてかわいい赤ちゃん！」でした。甘えん坊なYくんは、ミルクを飲むことよりも抱っこが大好きで、起きている時間のほとんどは「抱っこして～！」とアピールをしていました。ミルクをあまり飲まないの心配していましたが、離乳食は大好きだったようです。おいしそうにモグモグ食べるYくんの表情に思わず私も笑顔になる楽しい時間でした。



あんなに小さい赤ちゃんだったYくんがおすわりができるようになって喜んでいたのもつかの間、つかまり立ちもできるようになって、どんどんできることが増えて一緒に成長を感じられたことがとても嬉しかったです。

Yくんの笑顔にたくさん幸せをもらいました。Yくんにとって、乳児院での思い出が少しでも楽しい思い出の一つになっていれば嬉しいです。Yくんとのお別れは寂しいけれど、これからもたくさんの人に愛されて元気に成長できることを願っています。



Yくんの笑顔にたくさん幸せをもらいました。Yくんにとって、乳児院での思い出が少しでも楽しい思い出の一つになっていれば嬉しいです。Yくんとのお別れは寂しいけれど、これからもたくさんの人に愛されて元気に成長できることを願っています。

阪田



子どもたちのようす



女の子のお祝いの節句「ひなまつり」。子どもたちが健やかに育ちますようにと願いを込めてお祝いしました。大きなひな壇を見てお人形がこわいと泣いてしまう子や、人形や小さな道具を触っている子もいました。お内裏さまとお雛様の隣を指して「これは？」とたずねた子に、「これはぴかぴかと光る明かりだよ」と説明すると「ぼんぼり？」と、この飾りが『うれしいひなまつり』の歌の場面と分かった子もいました。ひなまつりが終わった後も、飾りがあったお部屋の前を通る時に「あかりをつけましょぼんぼりに～」と上手に歌って、お祝いしたことをみんなで思い出していました。

きいろグループ 吉田





乳児院とわたし



4月より「くるみ乳児院」へ異動することになりました。

30年間本当にありがとうございました。子ども達の笑顔、日々の成長を感じながら、その時々を保護者のみなさまや職員

みんなで一緒に歩んでくれたことに感謝の気持ちで一杯です。当院を巣立った子どもたちの親御さんや措置変更先からハガキやお手紙などで近況が届くと職員みんなで当時のことも思い出しながら語り合い成長を喜び合います。その瞬間がとても幸せな時間に感じています。

今から19年前の縦割りホームに移行するときに先輩職員が「子どもたちが思春期を乗り越えられるために、今、何ができるか、その一つとして縦割りホームを始めたい。」と力強く話されたこと時々思い出しています。巣立った子どもたちを思い出ときに「思春期をどのように過ごされているのか」「今、私たちに何か出来ることはないか」など思いめぐらせ、みんなで進めてきた日々でした。

2017年新築移転前に旧すみれ乳児院へ50名を超える子どもたちが遊びに来てくれました。

旭区移転6年目、ご近所さんやお店の方々とつながりも少しずつ出来始めています。移転前に職員みんなで考えていた「子育てサロン」や「乳児院前バザー」などが開催されますように、そして、これからも地域に根差した「すみれ乳児院」になることを願っています。

(総主任 藤川)



日々、子どもたちと関わる中で分からないことや悩むこともありましたが、先輩方に丁寧にご指導いただき、多くのことを学ぶことができました。すみれ乳児院で働く中で子どもたちに「しんどうさん！」とたくさん名前を呼んでもらったり、子どもたちの成長を身近に感じることができたりと嬉しいことや楽しいことをたくさん経験できました。すみれ乳児院で経験できたことを今後に生かしていきたいです。ありがとうございました。

(保育士 新堂)



子どもに関わる仕事がしたくて、病院から転職しました。乳児院とはどんなところなのか全く知らなかったのですが、すみれ乳児院憲章を読んで感動し、院長から子ども達との向き合い方を聞き、こ

で働きたい！と思いました。担当の子と関係ができてきた時の何とも言えない気持ち、病院では経験できなかったことを経験させてもらいました。たくさんの子どもの出会い、嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、悔しいこと、いろんな思いがありましたが、素敵な人たちに囲まれて働くことができ、楽しく過ごせた6年間でした。この出会いを大切にしつつ、これからも子どもに関わる仕事をしていきます。

(看護師 唐津)



初めて小さな赤ちゃんに関わる時には期待と緊張をしたことを覚えています。1年目の頃は、新たに保育士として子どもたちや保護者を支援していくことに対して不安も大きかったですが、

周りの先輩職員や同期に支えられてここまでやってきました。子どもたちの成長を近くで見られることの感動、子どもたちと関わることで保育士としてのやりがいを感じました。大変だったこと、悩んだこと、今となってはとても良い経験です。色んな方々にずっと支えられてきた5年間でした。すみれ乳児院での思い出を胸に、これからも邁進していきたいと思います。本当にありがとうございました。

(保育士 西)



働く仲間に支えられて、そして何より子ども達の笑顔や「おいちー」の言葉に元気をもらい働き続ける事ができました。

2017年にみんなが望んでいた長年の夢だった乳児院だけのお家に新築移転することができました。私は「夢って叶うんだ」と思いました。その輪の中に居られた事とかわいい子ども達と一緒に居られた事に幸せを感じています。今までありがとうございました。

(調理員 栗田)

いただきます～す！

春の華やか混ぜご飯（大人4分）

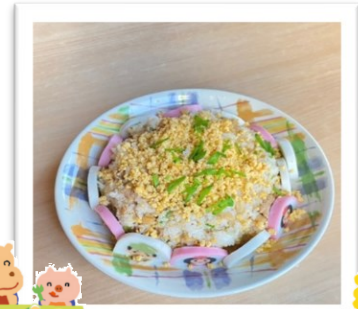
材 料

- ゆでたけのこ 150g
- 豚バラ肉（薄切り）200g ・菜の花 50g
- 卵1コ ・ご飯（温かいもの）600g
- きぬさや50g ・ごま油 小さじ2
- 【A】・酒大さじ2 ・しょうゆ大さじ2
- ・砂糖小さじ2

作 り 方

- ① たけのこは約 1cm 四方に切り、きぬさはさっと湯がいて千切りにしておく。豚バラ肉は 1cm 幅に切る。
- ② 菜の花は 1 分ほど湯がいて水気を絞り、細かく刻む。
- ③ フライパンに油をひき（分量外）、炒り卵を作り別の皿に移しておく。
- ④ フライパンを弱めの中火にかけ、ごま油小さじ2を熱し、豚バラ肉を入れてカリカリになるまで炒める。
- ⑤ ④にたけのこを加えて混ぜ、【A】を入れて2～3分間煮る。フライパンの火を止め、ご飯、菜の花を加えて混ぜる。器に盛り、③と仕上げ用のきぬさを散らして出来上がり。

調理員：清水



これからの4ヵ月の行事予定

- 5月 ももいろグループ園外保育
お買い物ごっこ
- 6月3日 50周年記念式
- 6月 昼食パーティ
- 7月 納涼交流会

保護者の方には後日詳しい
日程をお知らせします。



後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に 24 の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

＊個人会員 1口 3,000円

＊団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2023年度の更新の手続きを宜しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援してくださる方は、すみれ乳児院（06-6958-6066）まで。

ありがとうございました

令和4年度

地域のこどもの福祉のための助成

大阪府共同募金会様より下記の事業について助成を頂きました。入所児童の環境改善・処遇改善及び設備改善や、子どもへの支援向上に向けた研修費等に有効に使わせて頂きました。

ありがとうございます。

（内容）

- ・子どものお部屋等のエアコンの分解・洗浄
- ・キッズコテージ（大型遊具）
- ・ホームページのシステム追加
- ・「安心感の輪 子育てプログラム」研修費
- ・CRC コンサルティング

（助成金額） ￥2,000,000

（自己資金） ￥ 102,000

（事業費総額） ￥2,102,000

事業終了日 令和5年1月末

社会福祉法人 大阪福祉事業財団
理事長 茨木 範宏



（キッズコテージ）

【編集後記】

春の陽気に子どもたちは元気に「いってきま～す」と毎日散歩へ出掛けています。その顔にはもううっすら日焼けが見え始めています（松原）